

プレスリリース
報道関係者各位

2024年10月1日
株式会社安田念珠店

京都の放置竹林を腕輪念珠に。竹1本が腕輪念珠40連に生まれ変わります。
老舗念珠店から数珠繋がりにつながるSDGs

天和3（1683）年創業の念珠（数珠）製造メーカー「安田念珠店」が放置竹林（竹害）の解決策として腕輪念珠の製作を提案し、京都市総合企画局総合政策室公民連携プラットフォーム『KYOTO CITY OPEN LABO』に応募し連携企業に採用されました。放置竹林を使用して製作した腕輪念珠を直営店にて発売します。

Cotubu bamboo スタイル



弊社オリジナル商品「Cotubu」（コツブ）の竹バージョン。コンセプトの誰もが小さくともひと際、輝くことが出来る！をイメージして、14Kgf（14金ゴールドフィルド）玉を一つ。竹のどこか優しく自然美あふれるブレスです。

※Cotubu（コツブ）

2024年4月に発売開始。伝統と歴史を受け継ぐ念珠専門店が、次世代の方にも念珠を親しんでいただけるようにと願いを込めて長年培われてきた念珠製造の技術を生かし製作した腕輪念珠（ブレスレット）。

Cotubu 特設ページ（安田念珠店オンラインショップ内）

→https://www.yasuda-nenju.jp/special/index.php?sp_no=79

○製作のきっかけは訪問先のご住職からの『竹で数珠は作れないか』という相談を受けたこと

京都市西京区西山地区では放置竹林の処遇が課題となっており、安田念珠店では竹素材の念珠の製作実績もあることから、ご住職からの紹介でNPO 法人京都発・竹・流域環境ネット理事長の吉田博次氏に放置竹林の現状と試みについて伺いました。

土壌が粘土質のため、京都市の竹は滑らかで硬く、軽いという特徴があり、念珠の素材に適しています。放置竹林の竹材を使用した商品を製作・販売を通じて放置竹林への課題を消費者へ伝えるべくプロジェクトを立ち上げました。

○「京都ブランド」という付加価値をつけた商品の製作販売

京都市の公民連携プラットフォーム「KYOTO CITY OPEN LABO」の課題「京都らしい竹林景観の保全」に応募し、安田念珠店が連携企業として採用されました。

山奥にある放置竹林を間伐し約20kgの竹の運搬、さらに製材、乾燥、油抜きする作業をNPO 法人京都発・竹・流域環境ネットが行い、念珠に加工する竹板を安田念珠店が購入し腕輪念珠を製作・販売します。

今後は腕輪念珠だけでなく、略式念珠、正式念珠も製作し、販売場所も拡大します。安田念珠店から放置竹林の課題解決へとつながるよう「数珠繋がり」でSDGsに取り組みます。

左から竹生木→製版板→玉挽き→製品



◎京都市公民連携プラットフォーム「KYOTO CITY OPEN LABO」

課題「京都らしい竹林景観の保全」

<https://open-labo.city.kyoto.lg.jp/issue/preservation-of-bamboo-forest-landscape/>

【商品名】

Cotubu bamboo プレス 1.4kgf 入

【発売日】

2024年10月

【販売場所】

- ・安田念珠店寺町本店（京都府京都市中京区六角通麩屋町東入八百屋町118）
- ・京都ポルタ店（店舗移転のため休業中。2024年秋、京都駅ビル内にて営業再開予定）
- ・京都高島屋店（京都府京都市下京区四条通河原町西入真町52番地 京都高島屋 6階リビング・美術のフロア「仏壇仏具コーナー」内）
- ・日本橋三越本店店（東京都中央区日本橋室町1-4-1 日本橋三越本店 4階呉服売場内）
- ・安田念珠店オンラインショップ (<https://www.yasuda-nenju.jp/>)

※販売場所は順次拡大予定。

【会社概要】

商号 株式会社安田念珠店（やすだねんじゅてん）

代表者 安田容造（やすだようぞう）

創業 天和3年（1683年）

従業員 35名

業種 念珠（数珠）製造販売卸小売業

所在地 寺町本店：京都府京都市中京区六角通麩屋町東入八百屋町118

営業部：京都府京都市中京区御幸町通三条下ル海老屋町323

【問い合わせ先】

商品部 商品企画室

TEL：075-221-3735

MAIL：<https://ssl.yasuda-nenju.com/>